

## 2月定例会



北亭 (頼田貯水池)

# 昭和58年度各会計暫定予算を可決

4月6月分

## 総額一、八六九億円

### 決まった主なもの

#### 市長提出

◎五十八年度北九州市暫定予算

一般会計

一、〇二七億一、三〇〇万円

普通特別会計

七・五億 四三四万円

企業会計

一・二七億五、六八二万円

◎五十七年度北九州市補正予算

一般会計二・〇億 八二二万円

普通特別会計 一・四四億六、八〇

六万円を減額補正

企業会計 一・二億九、七三五万円

を増額補正

総額 一・六一億七、八九二万円

を減額補正

◎北九州大学条例の一部改正

北九州大学大学院に外国語学

研究科を設置するためのもの

◎北九州市自動車事業使用料及び

手数料条例の一部改正

普通旅客運賃を改定するため

のもの

◎北九州市立埋蔵文化財センター

条例

埋蔵文化財及び出土品その他の

考古学的資料の調査、研究等

を行うための埋蔵文化財センタ

ーを設置するもの

#### 議員提出

◎特別委員会の設置

本市が直面している重要課題

について調査研究するために、

六つの特別委員会を設けるもの

(各委員会及び委員名は後掲)

◎九州工業大学大学院総合工学研

究科博士課程設置に関する意見

書

◎福祉医療の県費助成に関する意

見書

◎小・中学校教職員の配置に関す

る意見書

◎九州海運局の機構縮小、再編に

関する意見書

◎被爆者援護法の即時制定に関す

る意見書

昭和五十八年二月北九州市議会定例会を、二月二十五日から三月九日までの十三日間の会期で開きました。

今議会では、市長提出議案の審議にさきだち、副議長の選挙や任期満了にともなう常任委員会委員の改選と、本市の重要課題を調査研究するための特別委員会の設置及びその委員の選任が行われました。副議長には、平山政智議員が選出されました。

今回、市長から提出された議案は、本予算が成立するまでの期間の経費を計上した五十八年度北九州市暫定予算など六十五件でした。これらの市長提出議案を、それぞれ所管の常任委員会に付託し、慎重に審議した後、三月九日の本会議において、すべてを可決しました。

また、議員提出議案のうち、意見書、決議は七件で、そのうち五件を可決し、二件を否決しました。

# 質疑 応答



三月二日と三日の本会議で十人の議員が、議案に対する質疑や市政一般について質問を行いました。その中から主なものをとり上げてみました。

## コミュニティへの 取組みは

**議員** 市長は、総合性のある都市づくりを行いながらコミュニティ意識を育てることが、二十一世紀に向けてのチャレンジだと言っています。

また、昨年六月に出された研究会の報告書でも、コミュニティづくりの重要性が指摘されており、今後の行政の中で大きな比重を占めてくると思います。

コミュニティづくりには、地域と家庭の連帯のもとに、住民と行政が一体となった積極的な取組みが必要ですが、これについてどのように考えていますか。

**市長** 二十一世紀に向けて経済社会の活性化やダイナミックな北九州を生み出すためには、コミュニティ問題を真剣に考える必要があります。

しかし、むずかしい問題でもあるため、まず、モデル・コミュニティを設定することから手がけ、現在いろいろな施設がばらばらに運営されているので、その状態を把握できるようにコミュニティ・カルテをつくったり、コミュニティ・リ

## 減額の理由は

―補正予算―

**市長** 投資的経費の確保は、相当困難ではあるが、経済の波及効果の大きいもの、雇面、景気面に即効を期待できる事業については、場合によっては財政調整基金のとりくずし等によって、拡大していきたいと思っております。

**議員** 補正予算では、一般会計三十億円、普通特別会計百四十四億円が減額されることになっているが、その主な理由をお聞かせください。

**市長** 一般会計では、公営住宅建設費、市街地再開発事業費、小中学校校舎整備費が減額の主なもので、その理由は国の補助内示が減ったこと、用地買収等に時間を要し事業が遅れたことなどによるものです。

特別会計では、競輪競艇の売上げ不振と白島石油備蓄基地造成事業の遅れによるものが主な理由です。

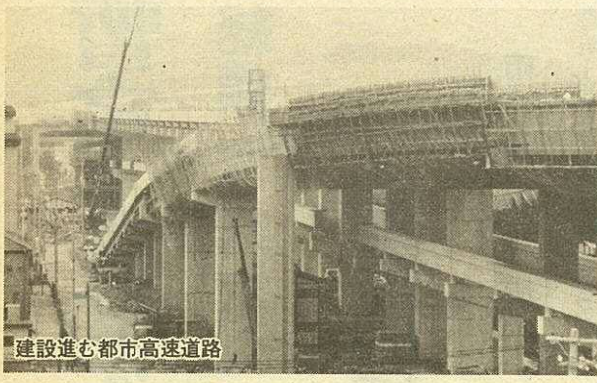
今後とも、各事業の予算について、的確な見直しをたて、予算計上に努めたいと考えています。

## 工事の進み具合は

―都市高速道路―

**議員** 現在、建設が進められている北九州都市高速道路の二次及び三次供用区間は、いつ頃完成する見通しですか。

**都市計画局長** 二次供用区間の篠崎北ランプから若園ランプの間二・九キロメートルと小倉駅北口



建設進む都市高速道路

## 雨水の有効利用を

―議員―

東京都では、雨水を雑用水として利用するため試験的に雨水利用施設を設置しています。市においても、第二庁舎に中水道施設を設置したが、大型の水資源開発や節水が叫ばれている今日、雨水の利用について検討してはいかがでしょうか。

## 基本料金の助成を

―ミニファクス―

**議員** 最近、電話で送って目で読めるという電話ミニファクスが普及し、言語障害者に非常に喜ばれています。

ミニファクスは、普通電話の料金以外にミニファクスの基本料金が必要ですが、障害者が設置した場合、この基本料金、工事費について助成する考えはありませんか。

**市長** 福祉向上のためにミニファクスの手段を確保することは大切なことだと思います。基本料金は月三千七百円で、工事費は五千円ということですが、助成については、今後の普及状況を見たらうで検討していきたいと思っています。

また、電電公社に対しては、割引を検討されるよう働きかけていきたいと考えています。

### 年長者のレジャー施設を

**議員** 年長者対策として設置されているまつがえ荘(門司区)は、入浴施設があり、大変盛況であると聞いています。

働くこととあわせて週一回の骨休めに温泉に入るとは年長者の楽しみでもあります。

今後このような施設を増やす考えはありませんか。

**市長** 年長者のためのレジャー施設は、まつがえ荘のほかめかり会館(門司区)、小倉荘(小倉北区)、明老館(八幡西区)と松信園(八幡西区)の五か所あります。

現在、建設の計画はありませんが、社会福祉協議会などの社会福祉法人で計画があれば、市も全面的に応援したいと考えています。

### 保健事業の推進を図れ

**議員** 二月一日から実施された老人保健法による医療以外の保健事業対象者数は、本市で約三十万人となっているが、これら対象者の保健事業はどのように進めているのですか。

**衛生局長** 保健事業の対象者は、四十才以上で労働安全衛生法で定める健康診査の受診者を除く人となっています。

事業の実施にあたっては、一定の基準が示されており、市では六十一年度を目標に年次計画を立てながら段階的に条件整備と事業内容の充実、拡大により受診率の向上を図っていききたいと考えています。

### 発掘調査は慎重に

―菜園場のぼり窯―

**議員** 昨年、小倉北区の愛宕遺跡から菜園場のぼり窯が発見されました。

この窯は、九州陶芸史の一つの基点として重要な存在であると聞いています。

菜園場のぼり窯の発掘調査は、慎重に実施すべきと考えますが、どのように取り組まれるのですか。

**教育長** この発掘調査は、郷土の歴史、文化のなぞをとく手がかりとなるのではないかとということで、関係方面からも期待されています。

このため、大学の教授や本市の文化財保護審議会の会長、委員、陶芸の専門家等で構成される発掘調査会を設けており、今後は、調査会議の指導を受けて慎重に実施していきたいと考えています。



のぼり窯跡

**議員** 最近、新聞等で校内暴力や青少年の非行事件が、ひんぱんに報道されています。

本市議会でも、青少年の非行化防止を推進するため、特別委員会を設置しました。

非行が低年齢化するなかで、青少年の健全育成について、どのような取り組みをしていますか。

**市長** 青少年問題は、市政の大きな課題です。これまで、青少年問題協議会の提言をうけ、少年相談センターの設置等の事業を実施してきました。

### 人間性豊かな青少年の育成を

現在、協議会の中に小委員会を設け、非行防止の推進体制づくり等について、討議をお願いしています。

### 備蓄基地の見直しは

**議員** 現在、国内の石油消費量は減少しており、加えて通産省は原子力、石炭、LNG等のエネルギー源を拡大し、石油輸入をおさえる方針を明らかにするなど、日本のエネルギー事情は変化しています。また、石油備蓄には膨大な資金を必要とします。

このような状況を見ると、石油備蓄基地建設は、抜本的に見直す時期にきているのではないのでしょうか。

**市長** 世界的不況、代替エネルギーの開発、省エネルギー対策の効果等で、最近石油はだぶついで

今後、少年相談センターの機能強化に努めるとともに、協議会を中心に、学校教育、社会教育等の各分野での取り組みの輪を広げていきます。

**教育長** 青少年の非行化防止対策として、家庭教育学級、家庭教育講演会等を開催し、また家庭教育のしおりの作成やPTA、婦人団体等に対する指導、助言等を行ってきました。

今後は、これらの施策についての反省をもとに一層の強化を行うとともに、公民館を拠点とした地域ぐるみの青少年非行化防止活動にも力を入れていきます。

なお、当面の方針として、青少年問題を五十八年度の最重要課題として取り組み、人間性豊かな青少年を育成するために、関係機関が一体となって推進していきます。

しかし、国や石油公団の考えは、石油の供給が非常に不安定であるという状況は解消されていないので、国家備蓄計画は変わらないという事です。

鉄冷えや失業問題を考えれば、地元に対する景気浮揚のためにも早く基地建設に着手していただきたいと思っています。

### 地下歩道の着工を延期

―モノレール―

**議員** モノレール小倉停留場と国鉄小倉駅を連絡する地下歩行者専用道の工事着工が延期される理由をおたずねします。

**都市計画局長** 小倉停留場の工

### 育てよう心のふれあい

**議員** 校内暴力は、教師と児童・生徒との心のふれあいがうすらいできていることが背景にあると思われま

教師と児童・生徒のあり方について、どのような対策を考えていますか。

**教育長** 児童・生徒の非行を防止するには、教師と児童・生徒との人間的なふれあいを深めていかなければなりません。

昨年の秋に、全教職員に配布した生徒指導推進要項にも、この点を強調しています。

児童・生徒との信頼関係のもとに、全教職員が一体となって、自然たる態度で生徒指導にあたらないければならないと思っています。

地下歩道及び地下広場の工事を進行するには、もう一度移設する必要がありますが、この移設は小倉停留場が完成した後でなければできない状況です。

また、地下広場が電車通りの下になるため、夜間工事をしなければならぬなどの事情により完成が五十九年十二月の開業目標より相当期間遅れる見込みです。

**議員** 開業時点までに地下歩道が完成しないならば、それを補う対策を考えていますか。

**都市計画局長** 国鉄利用者等の便宜をはかるため、高架コンコースにより、電車通りの上を直接渡れるようにしたいと思っています。

### 常任委員会委員

◎委員長 ○副委員長

総務財政委員会	民生水道委員会	公害衛生委員会	経済港湾委員会	建設交通委員会	文教建築委員会
◎有馬利雄 ○中川寿紀 佐藤昭夫 松本静夫 松尾武一 高尾新一 舌間正記 鷹木勝治 田中覚弘 武智弘	◎野口研一 ○山中三敏 吉尾計武 戸町直行 芳野義信 岡田誠英 安部孝勇 村庭和美 大丸和	◎下原廣志 ○富永実雄 安藤正之 重田幸吉 堺節夫 浜田順治 常守和明 平山政智 木下憲定 上野博郷	◎永田秀雄 ○中野利幸 井上昌太 安藤信義 井生猛志 柳田国憲 坂田隆生 牧一 宮本直道 本原義一 城戸武夫	◎和田利治 ○弘友和夫 末弘保夫 大坪郁夫 片山尹樹 鹿田磨樹 塚内浩之 吉田通生 久保利男 山内勝勝 細川政勝	◎渡辺讓治 ○三村善茂 本田政光 安田富彦 井上勝二 山家節夫 小林恭一郎 中村昌雄 野依勇武 海江田典夫 那波公明

### 特別委員会委員

大都市税財政制度 確立特別委員会	鉦害対策 特別委員会	都市交通・新空港 対策特別委員会	都市再開発対策 特別委員会	企業立地促進・雇用 対策特別委員会	青少年問題・年長者 対策特別委員会
・大都市税財政制度の確立 ・国有施設の取得促進	・鉦害地区の復旧、開発	・新都市交通システム ・新空港の建設	・市街地の再開発 ・美しいまちづくりの推進	・産業基盤の整備 ・雇用情報の収集	・青少年の非行化防止 ・年長者福祉等の推進 ・コミュニティ活動の推進
◎上野博郷 ○久保利男 末弘保一 野口研一 松本静夫 松尾武雄 永村昌雄 中村正智 舌間政武 平山武夫	◎大坪郁夫 ○高尾新一 重田幸吉 戸町直行 芳野義信 小林恭一郎 村田孝利 和市丸和 山内勝	◎柳田国憲 ○山中三敏 本田政光 吉尾計武 堺節夫 浜田順治 野依勇善 三村直道 宮本廣志 下原廣	◎安藤正之 ○田中川覺 中藤信義 安藤生猛 井岡田義 塚内浩之 常鷹和勝 吉木通弘 武智弘	◎那波公明 ○安田富彦 井上昌太 片山尹樹 鹿田磨樹 富永実雄 坂田隆生 牧一 大庭勇治 渡辺讓治	◎海江田典夫 ○弘友和夫 佐藤昭紀 中野利幸 井上勝二 山家節夫 有馬利雄 安部誠一 本原義定 木下憲勝 細川政勝

※中欄は調査研究事項

### 議会運営委員会委員

◎吉田弘野 ○吉末芳鹿	尾田高常 尾田尾守 田尾守中 中山	計生保行 通直磨 樹新一 樹一明 敏
----------------	----------------------------	--------------------------------

### 人事紹介

二月定例会において、次のかたがたが決まりました。

(敬称略)

堀川水利組合議会議員

鷹木勝治

笹尾川水利組合議会議員

松尾武 本原義一

直方市・北九州市岡森用水組合議会議員

中村昌雄 村田孝英

北九州市門司区農業委員会委員

安藤信義 柳田国憲

北九州市小倉北区農業委員会委員

牧一生 那波公明

北九州市小倉南区農業委員会委員

吉田通生 上野博郷

北九州市八幡東区農業委員会委員

片山尹 弘友和夫

北九州市八幡西区農業委員会委員

下原廣志 高尾新一

北九州市八幡西区農業委員会委員

鹿田磨樹 佐藤昭紀

北九州市監査委員

坂田隆 海江田典夫

北九州市監査委員

岡田義信